

会 議 録 (要点筆記)

会 議 名	第1回米原市コンポストセンター運営委員会
開 催 日 時	平成26年5月22日(木) 午前10時20分～午後0時20分
開 催 場 所	米原市コンポストセンター
出席者および欠席者	出席者：川並和子委員、森鈴子委員、金谷健委員(会長)、宮川一男委員、藤田一弥委員、三和伸彦委員、北村きのさん(代理出席)、伊夫伎博夫委員 欠席者：大澤勉委員(副会長)、藤本勇委員 事務局：西田副市長、藤本経済環境部長、北村課長、瀧上課長補佐、山田主査、山本主事 ◆三友機器 安富氏同席
議 題	米原市コンポストセンター今後のあり方について
結 論	委員から出された意見や質問に対し、次回開催までに事務局にて調査し、資料を作成する。 ・生ごみ収集を米原市全域で実施した場合の経費の試算 ・継続した場合と廃止した場合の今後10年間の経費の比較 ・当初計画の経緯などの聞き取り ・湖北広域行政事務センターのリサイクル率 ・現在の伊吹地域の生ごみ収集回数の決定方法の調査 など 次回7月17日の第2回委員会にて、作成した資料をもとに協議することとなった。
審 議 経 過	・事務局から、米原市コンポストセンターの現状について説明 ・以下、質疑応答(○：委員からの質問や意見、→：事務局からの応答) ○諮問書の中には、答申の期限がいつまでと書かれていないが、来年2月に委員会としての結論を出さなければならないのか。 →2月中に是非ということをお願いします。 ○委員会で意見の一致が見られないときも、2月の時点で今年度中の議論を一旦しめるということによいか。 →はい ○次回の議論する材料として、委員の皆さんから、資料であるとか事例の詳細だとか、ご意見やご質問など事務局に宿題として出してもらいたいと思います。 ○次回までに、現在の設備能力(現施設のまま)でした場合の試算、米原市全体に広げた場合の設備費や搬入費用等の試算など具体的な資料を委員会で示してください。

- 若い人たちが汗水垂らして稼いでおり、そういった人たちのお金が、赤字の事業に使われているのは憤りを感じる。この事業の経費を税金で賄われていることが問題だと思う。すごい経費がかかっているし、行政の見通しが悪い。大きな維持費用をかける必要はあるのか。
- （施設の継続・廃止）どちらに転んでも莫大な費用がかかる。どこに解決点を見つけるのか。ひとつひとつ塗りつぶしてはどうか。市民のかたに見えるように結論を出すべきで、市の1番負担の少ないものを選ぶべきと思う。
- 生ごみの処理量が当初計画からなぜズレたのかを、当初計画に関わった人物たちにヒアリングすべきだ。何故、当汚泥量についても見込みが違ってきたのか。
- 生ごみの搬入量と堆肥の販売実績に差があるのは何故ですか。
→処理がうまくできず、不良堆肥が出ているため。
残渣（異物）については、ごみとして湖北広域行政事務センターで処理し、不良堆肥はコンポストセンターの農場に撒いている。
- 生ごみが足りないのであれば、スーパーなどの事業所からの受け入れはできないのか。お金がかかってもごみは減らさないといけないので、生ごみの堆肥化を続けてほしいと思う。法的な規制を時系列に整理すると、計画当初の旧伊吹町の考えは間違いではないと思う。
- 私もこの施設のことを知らなかった。伊吹地域の方は良いことをされていると思う。生ごみは、畑に埋めるとイノシシ等が寄ってくる。施設の維持管理に経費がかからない安心安全なものであれば、続けることに同意する。
- この会議だけで進めることに疑問がある。米原全体の意見を聞くべきと思う。
- 行政だから出来た事業であり、伊吹地域の方が望んでやったということではなく、行政主導でやったこと。伊吹地域の市民は好意的姿勢で生ごみの分別をやっている。
- 搬入資材が足りないのであれば、いろんな所から入れれば良いのでは。良い方向に続けて行ってほしい。
- 技術提案方式で実験場のようなことをやったからこのような結果になったと思う。7年しか経っていないのに故障が多いのは、どういうものか。当初計画より処理量が減り、負荷が少ないはずで、早く故障するのはおかしいと思う。

	<p>○もし当初の予定通りの量が持ち込まれたら、コンポストセンターはもっと早く故障していたのか。今更の話だけど、当初の決定経緯がどうだったのか。農林水産省の補助事業で、この事業を採択したところの事情を当時の職員に聞き、見込みが違ったことがなぜ発生したのかを次回報告願いたい。</p> <p>事業系の生ごみの搬入について、事業系の生ごみを受け入れても黒字にはならない。</p> <p>○皆さんの意見をどうまとめていくか。1つ1つ潰して整理することが大事。7, 8年位で何故このようになったのか、最初のいきさつを振り返り、そのうえで議論を進める必要がある。採算（経費）の点、環境が良くなったという施設の貢献部分を出す必要がある。住民として家のごみを少なくし、リサイクルするための施設として、市民の環境意識にどの程度効果があったか、生活スタイルという教育、意識向上の評価をする必要がある。</p> <p>そして、最後に金がかかっても継続するかどうか、環境面からどうするのか、このような議論から最終的なまとめをしていけばどうか。</p> <p>○伊吹地域の生ごみのコンポスト化によって、一般廃棄物のリサイクル率の目標にどこまで寄与しているのか。</p> <p>→湖北広域行政事務センター全体（長浜市含む）のリサイクルの目標率は26%、長浜市は21.2%、米原市は26.1%。生ごみの堆肥化をしなければ、25.7%になります。</p> <p>○この資料についても、次回の委員会で資料を用意してください。</p> <p>○1年単位での経費の比較は難しいので、今後10年のスパンで比較した資料を作ること。</p> <p>伊吹地域の生ごみ収集が週1回になったのは、住民要望なのか、行政からのお願いなのか調べてほしい。</p>
--	--

会議の公開・非公開の別	<p>■公開 <u>傍聴者：2人</u></p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由（ ）</p>
会議録の開示・非開示の別	<p>■開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示（根拠法令等： ）</p> <p><input type="checkbox"/>非開示（根拠法令等： ）</p>
全部記録の有無	<p>会議の全部記録 ■有 <input type="checkbox"/>無</p>

	録音テープ記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
担 当 課	経済環境部環境保全課 (内線92-134)